9月1日は防災の日です

防災意識を高め災害に備えましょう

問い合わせ　防災危機管理室　☎876-1234（内線2021）

9月1日は関東大地震が発生した日です。日本では、この日を「防災の日」と定め、8月30日から9月5日までの期間を「防災週間」としています。

防災行政無線の試験放送

浦添市では、防災週間の一環として9月4日（土）正午に防災行政無線による一斉放送を予定しています。市内の西海岸を中心として24か所に設置された防災行政無線屋外スピーカーからサイレン吹鳴を行います。災害時の注意喚起や避難誘導などに役立ててください。

いざというときのために知っておこう！

津波の時は「津波避難ビル」へ

今年2月28日に発生したチリ沖地震により、津波警報が発表され、沿岸部地域の津波避難ビルの必要性が高まりました。そこで、津波発生時に一時避難施設として使用できるよう、市内5団体と協定の締結をしました。津波発生時に、遠くの高台よりも近くの高いビルへ避難していただくため、津波警報が出てから解除になるまでの間、津波避難ビルの廊下や屋上などを利用して市民の安全を確保します。

福祉避難所を新たに指定

災害発生時の避難所は市内小中学校ですが、寝たきりの高齢者、障がいのある方、妊産婦など一般の避難所で共同生活が困難な人が安心して避難生活ができるよう市内11か所の児童センターを「福祉避難所」に指定しました。福祉避難所には、畳間、身体障害者用トイレ、台所などが設置されています。

■津波避難ビル

施設名称	沖縄県建設会館	牧港ドライビングスクール	沖縄トヨタ自動車（株）	市産業振興センター（結の街）	沖縄県中央卸売市場
所在地	牧港5−6−8	牧港5−10−1	勢理客4−18−1	勢理客4−13−1	伊奈武瀬1−11−1
避難場所	3階（玄関前・ロビー）	4階（屋上）	3階（屋上）	3・4・5階（廊下）	3階（廊下・会議室）
収容人員	約336名	約690名	約700名	約540名	約440名
避難経路	裏門車両スロープから3階へ	東側非常階段から4階（屋上）へ	車両スロープから3階（屋上）へ	南北両サイド非常階段から3階以上の廊下へ	2階中央トイレ付近階段から3階へ
入り口	裏門（門扉施錠有）	東側非常階段（扉施錠有）	北側車両用スロープ（夜間チェーン有）	正面玄関（夜間常駐警備）	中央棟1階8か所より2階へ
備考	津波警報時、警備員により開錠	津波警報時、自治会員により開錠	津波警報時、警備員により開錠	津波警報時、警備員により開錠	会議室は津波警報時、警備員により開錠

■福祉避難所（児童センター）

若草児童センター	伊祖3-44-1	☎877-0047	浦城っ子児童センター	伊祖2-13-2	☎878-6815
内間児童センター	内間3-28-12	☎876-1502	森の子児童センター	勢理客1-4-1	☎874-7610
西原児童センター	西原4-9-1	☎878-1766	うらそえぐすく児童センター	仲間2-47-5	☎874-0417
経塚児童センター（経塚ゆいまーるセンター）	経塚1-17-1	☎876-4100	宮城っ子児童センター（みやぎ希望の森コミュニティセンター）	宮城3-7-3-1	☎870-0227
宮城ヶ原児童センター	宮城2-4-1	☎876-1895	前田ユブシが丘児童センター	前田323	☎871-1558
まちなと児童センター	牧港2-38-2	☎873-1898			

障がい者と健常者がともに生活する社会をつくろう

9月は障害者雇用支援月間です。

障がい者の雇用・就労に向けて、市内の各障害福祉サービス事業所や関係機関などで就労に関する支援が行われています。

また、障がい者と健常者が共に生き・働き続けることができる社会をつくるために、企業においても積極的に障がい者を雇用する取組も行われています。

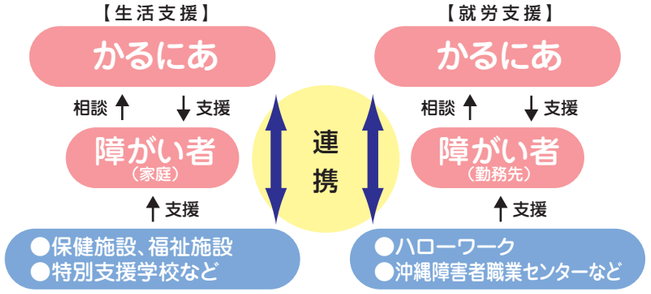
浦添市では、就労に向けた訓練を受けている障がい者を支援する一環として、定期的に市役所1階ロビーで障害福祉サービス事業所で製造されたパン・菓子類、装飾品等の展示販売活動を支援しています。

今年5月1日には、沖縄県が指定した「南部地区障がい者就業・生活支援センターかるにあ」が浦添市前田に設置されました。

南部地区障がい者就業・生活支援センター　かるにあ
浦添市字前田1004-9　2階　電話871-3456

「かるにあ」では、就業支援や生活支援を必要とする障がい者に対して、雇用・福祉・教育等の関係機関と連携し、障がい者の就業、生活に関する指導・助言、職業準備訓練のあっせんなどを行います。障がい者、家族の方の相談などにご活用ください。

●問い合わせ
福祉課　支援給付係
☎876-1234（内線3561）



障がいのある方の自立生活を応援します

浦添市では「障がい者等居住サポート事業・宿泊体験事業」を開始しました。物件探しや契約のとき手伝って欲しい、入居後も一人では不安、一人で寝泊りできるか練習してみたい等、障がいのある方の自立生活をお手伝いします。

【障がい者等居住サポート事業】
①借家探し
②入居保証（審査と保証金が必要）
③契約・入居時のサポート
④入居後の24時間電話相談

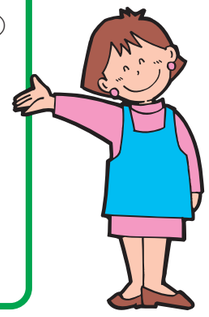
居住サポート事業受託事業者
株式会社　レキオス
☎941-3355
Fax 941-3191

【障がい者等宿泊体験事業】
・宿泊体験事業（実際に住む場所とは異なります）

一人暮らしを希望している方が、宿泊施設にて一人暮らしの生活を試すことができます。

●利用対象者

障害者手帳（身体・療育・精神）をお持ちの方または同程度の障がいがある方で、一人暮らしなどの自立生活を希望している方（引越し費用や家賃等の支払いが可能な方に限ります）。



障がい者等居住サポート事業・宿泊体験事業の
申込み・問い合せ先
福祉課　障がい福祉係
☎876−1234（内3565）
FAX 876−5011

【障害者相談支援事業所】
ピアサポートセンターほると
浦添市仲間1−1−2（福祉プラザ内）
☎879−7565　FAX 879−7568

地域生活支援センターEnjoy
浦添市前田1004−9
☎877−0552　FAX 877−0553

生活支援センターあおぞら
浦添市大平1−23−13
☎879−6644　FAX 879−6654